

特集

災害と地域ケア

9月1日は「防災の日」。1923年の関東大震災の教訓を糧にすべく1960年に制定された記念日です。人間が自然災害を避けることはできませんが、専門家による事前の備えがいかに大切か、アフターケアがどれだけ大きな価値を持つか、あらためて大きな教訓が世に示されたこの2011年。訪問看護に携わるひとに今なにができていくのか、これから継続してなにができるのかを次代に届けます。

被災地の訪問看護の今とこれから

それぞれに今できることを考える

●角田直枝

訪問看護ステーションの災害時マニュアルの準備

●河原宣子

「1か月後」の避難所支援

日本看護協会在宅支援ナースとして

●野崎加世子

「1か月間」に介護職は現地で何ができたか

●篠崎良勝

被災住民の長期的支援となる地域完結型の
看護・介護システムの提言

●川島みどり

看護職が知っておきたい 地域をつなぐ
「防災プロジェクト」学習

●鈴木敏恵

3.11に東京の訪問看護ステーションで思ったことと、
これからのために

●小暮和歌子

特別記事

3.11、宮城県名取市岡部医院訪問看護
ステーションで起こったこと

訪問看護師・遊佐郁さんを偲んで

編集後記

根っから数字に弱い私。「経営」と聞くだに目がショボショボします。でも、今回の特集では目の醒める思いを。経営って、算盤をはじくだけじゃないのです。2つの制度を股にかけ、多様な役割を果たす訪問看護は、良くも悪くもまだ得体が知れません。2つの座談会と4つの実践報告から、ニーズに応じて自ら変身し得る懐の深さと可能性を感じました。表紙は、珊瑚礁をステーションに、超高齢社会という海原へ続々と泳ぎ出す、色々の訪問看護師たちのイメージです。まずは目下の収支改善が気になる方は新連載「事業収支を黒字化する経営戦略」もご覧ください。もう1つの新連載は、4月号巻頭インタビューの細馬宏通さん。緻密な観察にもとづいた細馬さんの発見は、認知症ケアへのヒントと希望に溢れています。…杉本

昨年から育児スタートを契機に、マンションの組合理事を引き受け、地域の行事に参加したりと、新しい経験を始めました。すぐ直面したのは、やはり「経営」問題。どこかしこも、お金と人手の工面抜きに成り立ちませんね……。町内会費の徴収から老朽化した共有施設の再建、そして防災・減災のための手立てまで、やる事が山積みです。古い貯水槽を備蓄庫に改築したり、車椅子のお年寄りを上層階から下ろせるよう担架の購入も準備中。拙宅の向かいにちょうど特養・地域包括支援センターもあって、保育園に送る道すがら、お年寄りの笑顔に送られるのが面映く、なぜだか泣きそうになるのを堪えて歩く初夏の朝です。…青木

訪問看護と介護 第16巻 第8号（通巻182号） 2011年8月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2011, Printed in Japan

1部定価：1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料（税込，送料弊社負担，年間12冊）：13,200円（冊子のみ）／18,200円（冊子＋電子版）／13,200円（電子版／個人）／15,180円（電子版／共有）

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：杉本・青木・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページ：http://www.igaku-shoin.co.jp/

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行なうことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（社）出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつと事前に（社）出版者著作権管理機構（電話03-3513-6969，FAX03-3513-6979，E-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。